

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜盲学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和7年11月1日(土) 12:45～14:45
- 3 開催場所 岐阜盲学校 体育館及び校長室
- 4 参加者 会長 池谷 尚剛 岐阜大学教育学部 名誉教授
副会長 鳴海 裕美子 本校PTA 会長
委員 神 尚喜 視覚障害者生活情報センター 主任
平井 花画 岐阜県ユネスコ協会 会長
松本 公 京町自治会連合会 会長
岩田 友樹 本校同窓会代表マッサージ・鍼・灸 もむタロー
学校側 兒玉 哲也 校長
堀 晴貴 事務部長

5 会議の概要(協議事項)

- ・本校の文化祭 午後の部を参観する。
- ・第1回学校運営協議会後の活動・取組について説明する。
- ・本校の文化祭のあり方について協議する。

意見1：子供だけでなく、保護者も一緒に体を動かすことが児童生徒によい体験となる。障がいの有無に関係なく参加者が増えていくことで、健常者との距離が近づくことが実感できる場になると考える。

意見2：近隣の高校生がゴールボール体験会・交流会に参加できなかったことは残念ではあるが、沢山のひとと知り合う機会があることは素晴らしいことである。現在でも不登校が問題視さ

れているが、こういった活動と一緒に取り組むことで考え方が変わり、新しい発見が起こるのではないかと考える。

意見3：視覚障がい者の方が体を動かす機会は少なくなるため、改めて、ゴールボールの良さを感じた。見える、見えないに関係なく、何か工夫すれば、一緒に活動が出来るようになると感じた。他にも視覚障がいスポーツとしてサウンドテーブルテニス（卓球）、ブラインドテニス、タンデムバイクなどもあり機会があれば、情報提供していきたい。また、先日の防災運動会で準備運動として太極拳を実施した。ゆったりしたスポーツも取り組みやすいため紹介の機会を設けたい。

意見4：ゴールボールは、奥が深く、駆け引きがあり、たくさんの方が体験できると良いと感じた。今後も健常者もたくさん参加し、障がいの有無に関係なく楽しんで活動できる場にしたい。

意見5：児童生徒が減少している盲学校で、今年度のように交流の場を設ける意義は大きいと考える。今年度の取組は、年齢を問わずに参加でき良い印象を受けた。今後も、多数の方が参加しやすい交流の場を広げていく工夫をしていきたい。

意見6：午前中のステージ発表では、児童生徒の個性が生かされて輝いて見えた。午後からのゴールボール体験会・交流会では、児童生徒に加えて保護者やOBが参加したことで楽しく良い時間を過ごすことができていた。今回の文化祭では実現されなかったが、地域の中高生と一緒に交流できる場が増えていくとよい。

6 会議のまとめ

- ・第2回学校運営協議会は、文化祭 午後の部を参観した上で、委員から意見を得る機会とした。
- ・今年度の文化祭は、午前中がステージ発表、作品展観覧、クイックマッサージ、作業製品の販売等として、午後からはゴールボール体験会・交流会とした。文化祭の在り方については、学習の成果を発表する場の他に、たくさんの方々と交流できる場となるようにこれまでも検討課題として挙げていた。今年度の取組では、児童生徒が、盲学校にゆかりのある方々と交流できる場を設けることができたことを評価していただいた。